

2025 年 12 月 20 日

## 一般社団法人日本発達心理学会における生成 AI の利用に関する基本ポリシー

近年、AI 技術の進展にともない、学術研究の多くの側面において、生成 AI が利用されるようになりました。一般社団法人日本発達心理学会(以下、本学会)では、「発達心理学研究」に投稿される学術論文や、大会発表論文集に投稿される原稿の執筆、さらには大会での発表における、生成 AI の利用に関する基本ポリシーを以下のように定めました。

### (1) 著者の説明責任

学術論文や大会発表論文集原稿、大会発表において生成 AI を利用した場合、その内容の説明責任は全ての著者または発表者が負うものとします。どのようなツールを、どのような目的で利用したかを原稿（方法または付記など）に明記してください。

### (2) プライバシーへの配慮

生成 AI ツールに入力された情報は、運営組織や第三者に利用される可能性があります。個人を特定する情報や守秘性の高い情報を入力することは避け、プライバシー配慮に十分留意してください。

### (3) 盗作・偽情報への注意

生成 AI による文章や成果をそのまま利用することは、盗作や著作権侵害につながる可能性があります。

す。また、生成 AI は不正確な情報や虚偽の引用を生成する場合があります。利用に際しては必ず文献や事実の確認を行い、適切な引用と正確な記述を徹底してください。

#### (4) 著者資格

生成 AI は、学術論文や大会発表論文集原稿、大会発表の内容について説明責任を果たすことができないため、著者としての要件を満たしません。そのため、本学会の活動において、生成 AI は著者資格を持ちません。

なお、この基本ポリシーは、技術の進展や学術コミュニティでの議論、本学会の方針変更等に応じて、適宜見直しを行う可能性があります。